
なかなかからだ

きまぐれ屋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

なかなかからだ

【著者名】

ZZマーク

N5864H

【作者名】

きまぐれ屋

【あらすじ】

経験豊富だなんて嘘。キスひとつままならないあたしは、どうにかして彼に振り向いてもらいたいだけなんだ。

(前書き)

ストーリーの関係で性描写があります、苦手な方はBackをお願いします。

「・・・意地悪」

思わず零れた眩きに、
彼はうつすらと微笑んであたしを見上げた。

レンズの奥の瞳にあられもないあたしの姿が歪んで映し出されている。

着崩れているがきちんと服を身につけている彼に、ほぼ全裸なあたし。

はたから見るとかなり異様な光景に違いない。

微かに震える指先に彼は気づいてるのか、気づいていないのか

人が必死な思いなのに、こんな時でさえ顔色一つ変えない。

「・・・終わりですか？先輩」

「・・・まだ」

じゃあ、どうぞ

とでも言つゝ、切れ長の瞳が再びゆっくりと閉じられた。

何でそんなに冷静なのよ・・・

怒りだか羞恥だか分からぬ、眩暈を興しそうな熱があたしを支配する。

分からぬ、
この熱も、・・・彼も。

何故だか訳もなく泣きそうになつて、不器用に強く唇を押し付ける。
恐る恐る滑らせた舌は、なにも邪魔されずに口腔内へと導かれた。
初めての感覚なのに、一人相撲をしている気分。

あ、やばいかも

気付いたときにはもう遅くて。

緩んだ涙腺から一粒の雫が彼の頬の上へと滑り落ちた。

「・・・え」

声を出したのは彼。

今までに見たことも無いような表情が、なんだ視界いっぱいに広がつていて。

「… も、むり、『めん…』」

ほてった頬に再び冷たい涙が滑り落ちて、彼のワイヤーシャツに淡く染みを残す。

均整のとれた彼の引き締まった肉体に、処女のあたしが触れる」となんて出来るはずがなかった。

経験豊富な先輩、だなんて最初から演じられるはずも無い。

貧相で不格好なあたしなんて、彼の前では、まるで『みぐず』のようだ。

「・・・『めんなさい、嘘なの、全部、あたしは、
今更無しは受け付けませんよ先輩』」

彼の言葉の方が早かつただろうか。

今まで微動だにしなかった逞しい腕があたしの体^いじとやわらかって、いつの間にかあたしは彼に見下ろされていた。

「 -え？」

「・・・許しませんそんなの、今更誰かに渡す気もない。」

そつ言つて強く押し付けられた脣が、妙な程熱を帯びていて。
彼が触れた小さな膨らみから、痺れるような感覚が襲つてきて。
これ以上彼に触れられ続けたら、この意味の分からぬ感覚にあた
しは殺されてしまう。

「へつも、やあ」

熱に浮されたように頭がくらくらして意識が全部吹き飛びそうな中、
彼が最後の下着に手をかける感覚がして、あたしは咄嗟に声を上げ
た。

「…つま、つて！」

「…・・無理です、もづ。」

静止の声も虚しく、すっと侵入してきた彼の手は、あたしの敏感な部分に執拗に触れる。

彼の手の感触を初めて感じたあたしの体は、妙な痺れと疼きでおかしくなりそうだ。

「一今までの分まで、沢山鳴いて下せこ」

言葉とほぼ同時に一番奥深くまで差し込まれた指に、あたしは思わず彼にしがみついて鳴き声をあげてしまった。

「一一つ」

「…・・まだまだですよ、先輩。覚悟、してください。」

熱い吐息と共に囁かれた言葉にまた体が反応して。

言葉の通り激しさが増していく行為に、あたしが意識を手放しす瞬

間、絞り出すよくな彼の声が聞こえた気がした。

「・・・俺から離れていいとするからです。」

あたしはやつて、ハグをあげた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5864h/>

なかないからだ

2010年12月10日02時04分発行